岡山理科大学 獣医学部 獣医保健看護学科

News Letter Vol. 7

このニュースレターでは学生達の活躍、講義や実習の様子、学科の取り組み、動物豆知識などを紹介します。獣医保健看護学科に興味を持ってくれた高校生の皆さんとのコミュニケーションツールになればと思っています。

獣医保健看護学科と獣医学科の共同学外実習

1年生の春学期に開講される「動物関連キャリア概論」は学外実習として、多岐にわたる獣医事分野に関わる機関を見学します。獣医保健看護学科、獣医学科学生が共同で体験し、自らの専門性をいかせる可能性のある様々な動物関連の職域の広さを知り、その業務内容、役割等を理解します。それぞれが身につける専門性を、将来、どのようにいかすことができるかを、現場見学を通して考える機会とすることを目的としています。今年度は約200名の学生が愛媛県内はもちろん、高知競馬場等四国地方4県、山田みつばち農園等中国地方の24施設の見学を行いました。

見学先:愛媛県 畜産研究センター

開 由里菜

愛媛県畜産研究センターの見学に参加しました。センターでは、愛媛甘とろ豚や愛媛あかね和牛等重要な遺伝資源品種が飼育されるとともに、受精卵や精液の凍結保存が行われており、豚熱等の感染症が蔓延した場合でも人工授精によって品種を守ることが出来ることが学べました。また、生まれたばかりの子牛を、職員の方々が立てるよう手助けをしていました。小さな命ために一生懸命になる姿はかっこよかったです。センターの職員の方々の家畜の品種を守る姿勢を見て、私も動物に寄り添える獣医関連専門家(VPP)になりたいと思いました。

今回の実習により、畜産分野への興味が広がり 将来について考えるきっかけとなりました。学ん だことをいかして、今後も頑張っていきたいと思い ます。

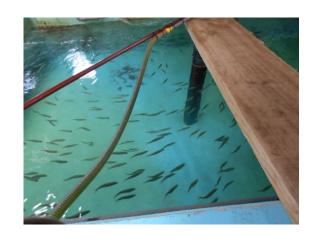


見学先:国立研究開発法人水産研究· 教育機構 水産技術研究所

増田 晴河

伯方島にある水産技術研究所を見学させていただきました。職員の方に講義をしていただき、また、所内設備や設備ごとの工夫を見せていただきました。見学先では、アンリ・ポアンカレの言葉を引用し、すぐに役に立たずとも先を見据えて研究に取り組む姿勢の重要性や、靴底を薬剤で消毒することで外部からの微生物の流入を防ぎ、病気にかかるリスクを下げるという病気の予防の重要性を教えていただきました。

初めての学外の施設見学は新鮮で多くの学びを得ました。この貴重な体験を今後の大学 生活にもいかしていきたいです。



農林水産省畜産系技術職に本学科初の最終合格!!

獣医保健看護学科は、今年度に2回目の就職活動を迎えました。近年のコロナ禍の影響もあり、ここ数年公務員の人気が高まっていますが、今年も本学科の学生が公務員試験を受験しました。公務員の仕事には、本学科で学ぶ専門知識や技能をいかせる技術職として、畜産職や農学職があります。

今年度の結果は、1次の筆記試験では国家公務員4名 (農林水産省)・地方公務員6名 (愛媛県、広島県、岡山県、兵庫県) が合格しました。そして2次の面接試験を突破し4名が最終合格しました[農林水産省(畜産)、広島県(畜産)、愛媛県(畜産)、岡山県(畜産)]。中でも農林水産省(畜産)は全国で25名しか採用枠がなく最難関であるといえます。昨年は1次試験までしか合格できませんでしたが、今年は本学科において初めて1名最終合格を果たすことができました。公務員試験に最終合格した先輩たちの声をお届けします。

野中 麗 合格先:農林水産省 (畜産系技術職)

もともと動物が好きで動物に関わる仕事に就きたいと考えていました。高校生の頃に、2010年に宮崎県で起きた口蹄疫の存在を知りました。その時に、口蹄疫に感染した家畜が全て殺処分となることに衝撃を受けました。そこで、動物の中でも産業動物に携わることで、感染症によって殺処分される家畜を減らしたいと思うようになりました。その思いから、動物看護分野だけでなく、畜産や感染症予防そして危機管理などを幅広く学べる獣医保健看護学科に入学しました。大学で講義を受ける中で、検疫によって感染症の侵入を水際で防止する家畜防疫官という仕事があることを知りました。検疫を通じて海外から侵入してくる伝染病から日本の家畜や畜産物を守りたいと思い、農林水産省の畜産系技術職員を目指して勉強しました。

私が配属される動物検疫所では、アフリカ豚熱などの伝染病や人獣共通感染症対策の最前線としての役割を担っています。そのような場で働けることに責任の重さを感じていますが、大学で学んだことをいかして日本の畜産振興と人の健康に貢献できるように頑張りたいです。

古川 晴那 合格先:広島県上級(畜産)

大学では公務員を志望する学生の支援に力を入れていることを聞いており、また公務員の職が安定していることや動物に関わることができることを考え、公務員を目指してみようと考え始めました。大学で動物について学び、馬術部の活動で馬と触れ合う中で畜産について興味を持ちました。興味を持った理由は、畜産動物はペットとは違い人の利益のために飼育されていますが、私たちが普段食べている畜産物がどのように産まれ育てられ、食卓に届いているのかについて何も知らないと感じたからです。また、畜産動物は普段触れることのない動物だったので特に興味が強かったこともありました。大学3年生の夏に、実習で酪農家の仕事を体験することになりました。この実習で畜産農家の仕事の大変さを知り、将来は農家のサポートをする職に就きたいと考えるようになりました。同じ時期に愛媛県の中予家畜保健衛生所にインターンシップにも行き、実際に公務員の仕事の内容を見ることができました。この経験から公務員職の漠然としていたイメージが具体的なイメージになりました。

今後は畜産が今抱えている問題である畜産動物の飼養環境や動物の福祉について改善していきたいと考えます。動物看護師が国家資格になりましたが、畜産分野でも動物看護師や獣医関連専門家(VPP)が活躍できる現場を作っていけたらいいと考えています。獣医関連専門家(VPP)として動物について勉強してきたことと実習での酪農家の仕事を経験したことをいかし、農家の方と動物の両方が良い環境で暮らしていけるようなサポートをしたいです。獣医関連専門家(VPP)として学んできた知識を、地域の人々の食の安全のために、農家の方が楽しく仕事をできるように役立てていきたいです。

発行元 岡山理科大学 獣医学部 獣医保健看護学科

お問い合わせ先

〒794-8555 愛媛県今治市いこいの丘1-3

TEL(代表): 0898-52-9000

